



## HISTORY

### 歴史

胸にあざみのエンブレム。英王室のアン王女がチームを支援してきたことはよく知られている。シックスネーションズ(欧州6か国対抗)は、スコットランド代表とイングランド代表の対抗戦(カルカッタカップ)がその起源とあって誇り高い。派手さはないが堅実さを好み、ひた向きのプレースタイルが伝統だ。

また、スコットランドはセブンズ(7人制ラグビー)の発祥国でもある。1993年に開催された第1回ラグビーワールドカップ・セブンズの舞台が同国(エディンバラ)だったのは、そのためだ。

1989年に日本代表が史上初めてホームユニオンから勝利を挙げたときの相手がスコットランド代表であり、日本ラグビーには、縁の深いチームのひとつだ。ブリティッシュ&アイリッシュ・ライオンズの遠征で主力抜きだったとはいえ会心の勝利だった。その後もラグビーワールドカップで3度対戦するなど、すべての対戦が印象深い。

## ROAD TO RWC 2019

### 近年の足どり

2015年のラグビーワールドカップで予想以上の成績を残したのがスコットランド代表だった。プール戦では南アフリカ代表を破って勢いに乗る日本代表につけ入るスキを与えず完勝。南アフリカ代表には敗れたが、決勝トーナメントに進出し、準々決勝ではオーストラリア代表に肉迫した。最後は逆転PGを決められて沈むのだが、後日、直前のペナルティが誤審だったとアナウンスされたが敗者がトーナメントに戻ることはなかった。

2015年のラグビーワールドカップ後も翌年の日本遠征で2テストに完勝した後、2017年のシックスネーションズではアイルランド代表、ウェールズ代表戦勝利を含む3勝を挙げた。順位は4位と低調も、誰もが上昇を感じている。

## STYLE

### 戦力とプレースタイル

チームを率いるSHグレイグ・レイドロウ主将は、そのポジションに就いていることもあるが、チー

ムの真ん中からゲームと仲間をコントロールする。2017年のシックスネーションズを戦ったチームは、史上もっとも才能豊かなBKと言われた。FBには才能あふれるスチュアート・ホッグが控え、オランダ人のWTBティム・ピサーは決定力ある大型ランナー。SOフィン・ラッセルはゲームコントロールに長けている。

FWにも能力の高い選手たちが揃う。その筆頭が、リッチー(兄)とジョニー(弟)のグレイ兄弟だ。ともに長身でリッチーはラインアウトに抜群の強さを発揮し、ジョニーはよく走り、下働きも。チームいちばんのハードワーカーとして高い信頼を得ている。伝統的にしつこさと結束で相手を苦しめるバックは、個々より固まったときに真価を発揮する。

前評判通り、チームの得点力は高かった。2017年のシックスネーションズ全5試合で奪った14トライは6チーム中2位の数字。総得点122も3位と上位に入った。新任のグレガー・タウンゼンド監督はSO出身だけに、BKの力はさらに伸びそうだ。

## FACT FILE

協会創立▶1873年  
 エンブレム▶アザミ  
 ウェブサイト▶www.scottishrugby.org

f /scottishrugby  
 t @Scotlandteam  
 i @scotlandteam

## RWC RESULTS

- 1987 準々決勝敗退
- 1991 4位
- 1995 準々決勝敗退
- 1999 準々決勝敗退
- 2003 準々決勝敗退
- 2007 準々決勝敗退
- 2011 プール戦敗退
- 2015 準々決勝敗退

## HEAD COACH

グレガー・タウンゼンド  
 Gregor Townsend



1973年4月26日生まれ。ニュージーランド人のヴァーン・コッター監督のあとを継ぐのがグラスゴーウォリアーズの指揮官だったこの人だ。現役時代はスコットランド代表SO/CTBとして活躍。1993年から2003年にかけてアザミのエンブレムを胸にプレーし、同代表が5か国対抗(現6か国対抗)を最後に制した1999年の大会では全4試合でトライを決めた。名キッカーで、キャップ82を獲得した。2017年6月就任。2009年~2012年は同代表BKコーチ。

## PLAYERS TO WATCH

LO  
 リッチー・グレイ  
 Richie Gray

ハンサムな長身LO。グラスゴー在籍時は、ファンが会場に『リッチー・グレイ・マスク』を着用して来るほどで、一種の国民的ヒーローだった。空中戦には滅法強く、大型ながら運動量も豊富だ。「働き者」として有名な弟・ジョニーとのコンビでスコットランドFWを支える。



FB  
 スチュアート・ホッグ  
 Stuart Hogg

攻守両面で才能を発揮するが、特に攻撃面で類い希なセンスを発揮する。ラグビー選手を輩出することで知られるホーウィックで育った。2016年度はシックスネーションズの最優秀選手に選ばれた。サッカーの名選手、ジョージ・ベストの速縁にあたる。



## RWC2019 同プール対戦チームとの過去大会対戦成績

v アイルランド代表

○ 24 - 15 RWC1991 (POOL2)

v 日本代表

○ 47 - 9 RWC1991 (POOL2)

○ 32 - 11 RWC2003 (POOLB)

○ 45 - 10 RWC2015 (POOLB)

v ヨーロッパ地区1

-

v ヨーロッパ・オセアニアPO

-